



陳言コラム-19

中国雑談

春節の大移動で荒稼ぎの「黄牛」

あけましておめでとうございます。駐在員のみなさんは、今ほぼ全員日本から中国現場に戻ってきたでしょう。幸い北京の空気はそれほど悪くなく、留守中のご家族はあまりご心配なくひと安心しているだろうと思います。

しかし、中国の新年は春節です。地方にある実家に戻るには、これからほんとうにたいへんです。今年は少なくとも 30 億人 / 回以上の移動はあります。私の場合、本当は上海の田舎である崇明島に家族三人で出かけ、大晦日を過ぎて、暦の二日か三日にまた家族三人でかみさんの実家の河北省に出かけて、暦の五日か六日に北京に戻ります。一人は一週間で 3 回も移動しなければなりません、疲れてとっくに春節は実家で過ごすことを止めています。

中国では毎年春節の時期に入ると、鉄道切符の購入難が大きな話題になります。切符を買えない人たちのために代理購入をする人々が、この購入難を利用して大儲けしており、彼らは巷に「黄牛」（ダフ屋）と呼ばれています。

現在、ネットは春節の際に切符を購入する主な手段となりつつあります。12306 サイトでの切符の販売量は前年の 56% から 59.7% に上昇しています。多くの「黄牛」たちがネットによる代理購入というビジネスチャンスが到来したと見て、彼らは続々とネットで転戦を繰り返し、一秒を争うネットでの切符争奪戦において、彼らは常に難なく切符を購入することができています。では、彼らの商売はどのように成り立っているのか？

一例として、呉さんはネット上で切符を買えなかったので、「黄牛」に依頼せざるを得なかったです。100 元の手数料を支払い、呉さんは首尾よく 2 月 6 日夕刻に出発する北京発南昌行きの寝台切符を入手することができます。呉さんが驚いたのは、ネット上で切符が発売される前に、「黄牛」はすでに切符を確保することができていたことです。

ある「黄牛」の話によると、切符購入の成功の秘訣は価格が 9000 元もするチケット購入ソフトウェアだそうです。このソフトウェアは自動的に鉄道切符購入の識別コードを読み取ることができ、その速度はわずか一瞬だといいます。切符が発売された瞬間、一般の



購入者がまだサイト上で切符を確認することができていない間に、「黄牛」たちはすでに切符購入完了の知らせを受け取っています。その一方で、手動で切符を購入しようとしている一般の人々が、望みの切符を入手できるかどうかは運次第です。

今年から踏ん張って 9000 元もするソフトウェアを買いましょうか。しかし、会社から支払ったボーナスはなぜかゼロが二つ少ないです。10 元を足して、「黄牛」さんをお願いするか、その思っている人は決して少なくないでしょう。

陳言 在北京ジャーナリスト

連絡先: chenyan@seapush.com

微信: chenyan5931